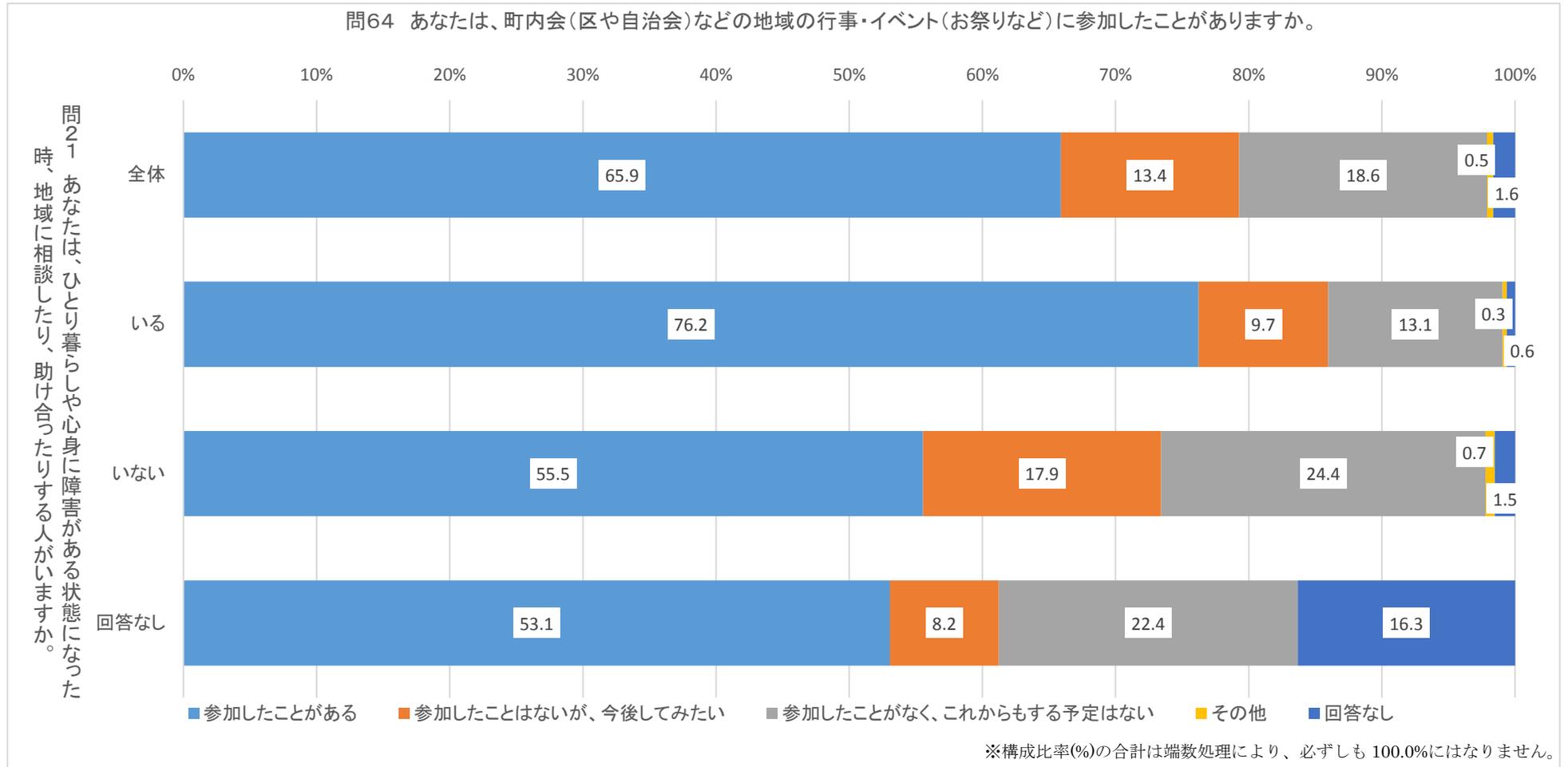
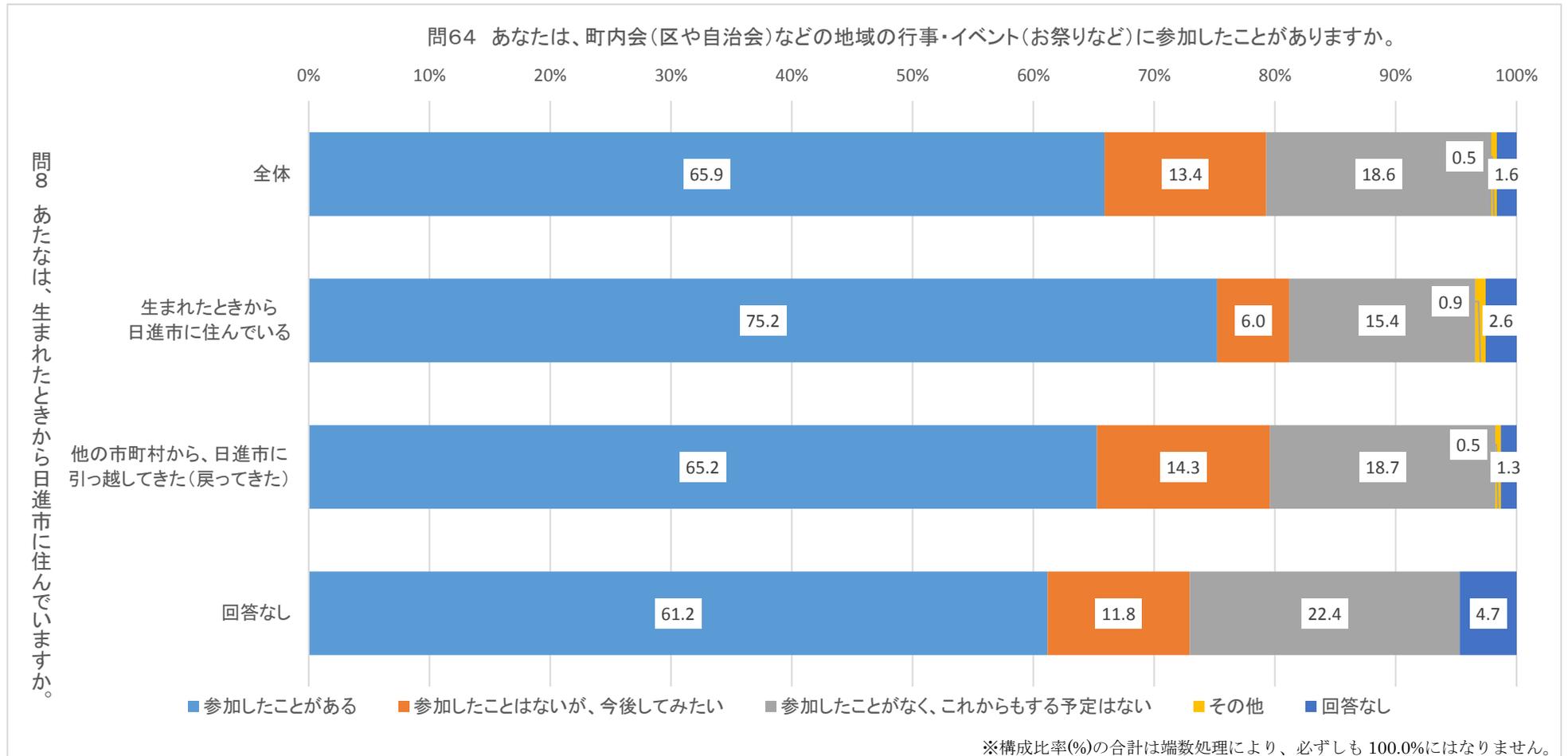


1 地域における助け合いと地域活動への参加経験の関係について



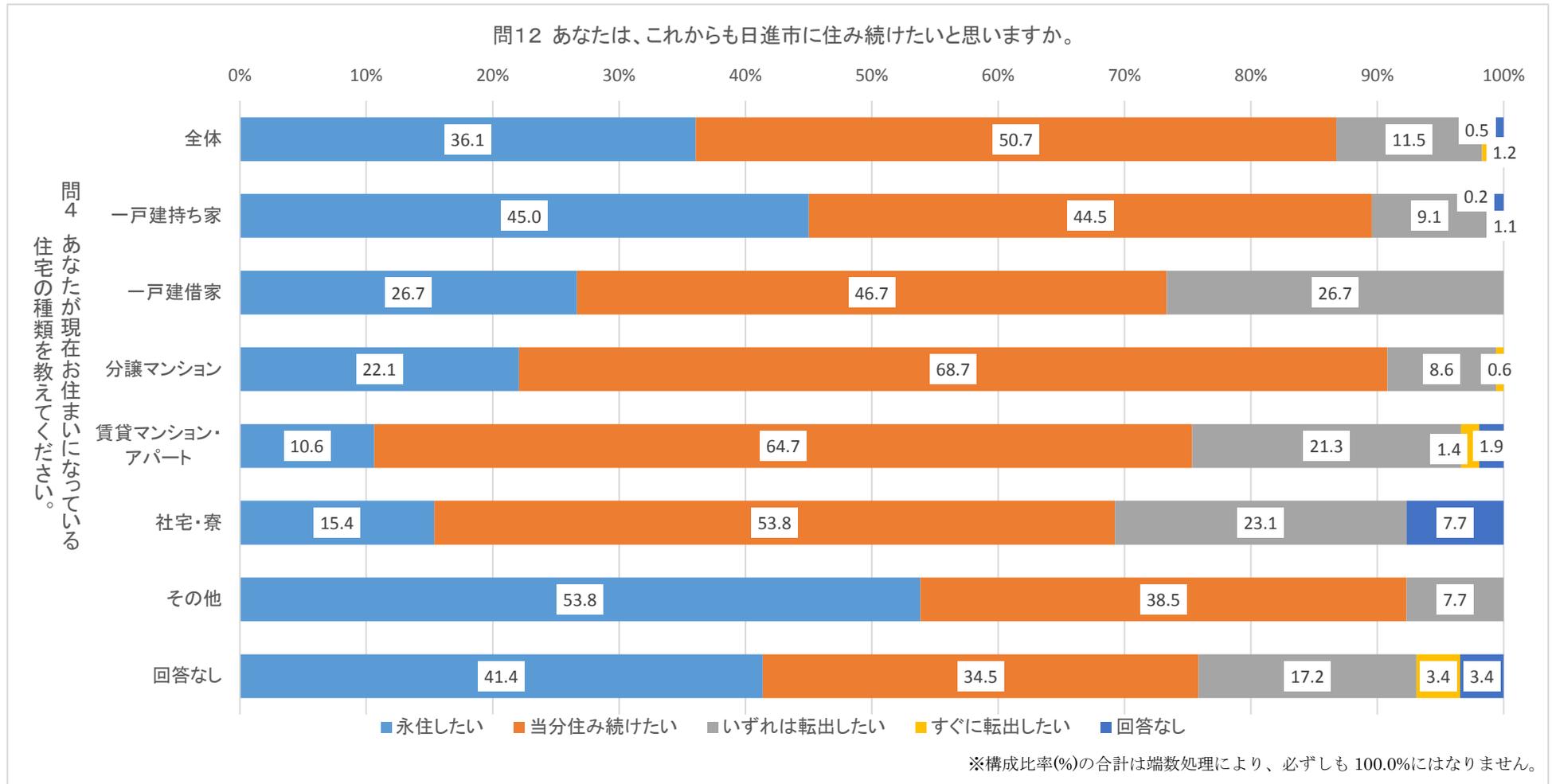
地域の行事・イベントに参加したことがある人の方が、地域に相談したり、助け合ったりする人がいる場合が多いという結果になった。これは地域の行事・イベントを通じて地域内の人々の交流が生まれるからであると考えられる。このため、地域内の助け合い（共助）の風土をより浸透させていくためにも、地域の行事・イベントに参加する人を増やしていく必要があると考えられる。

2 出生地と地域活動への参加経験の関係について



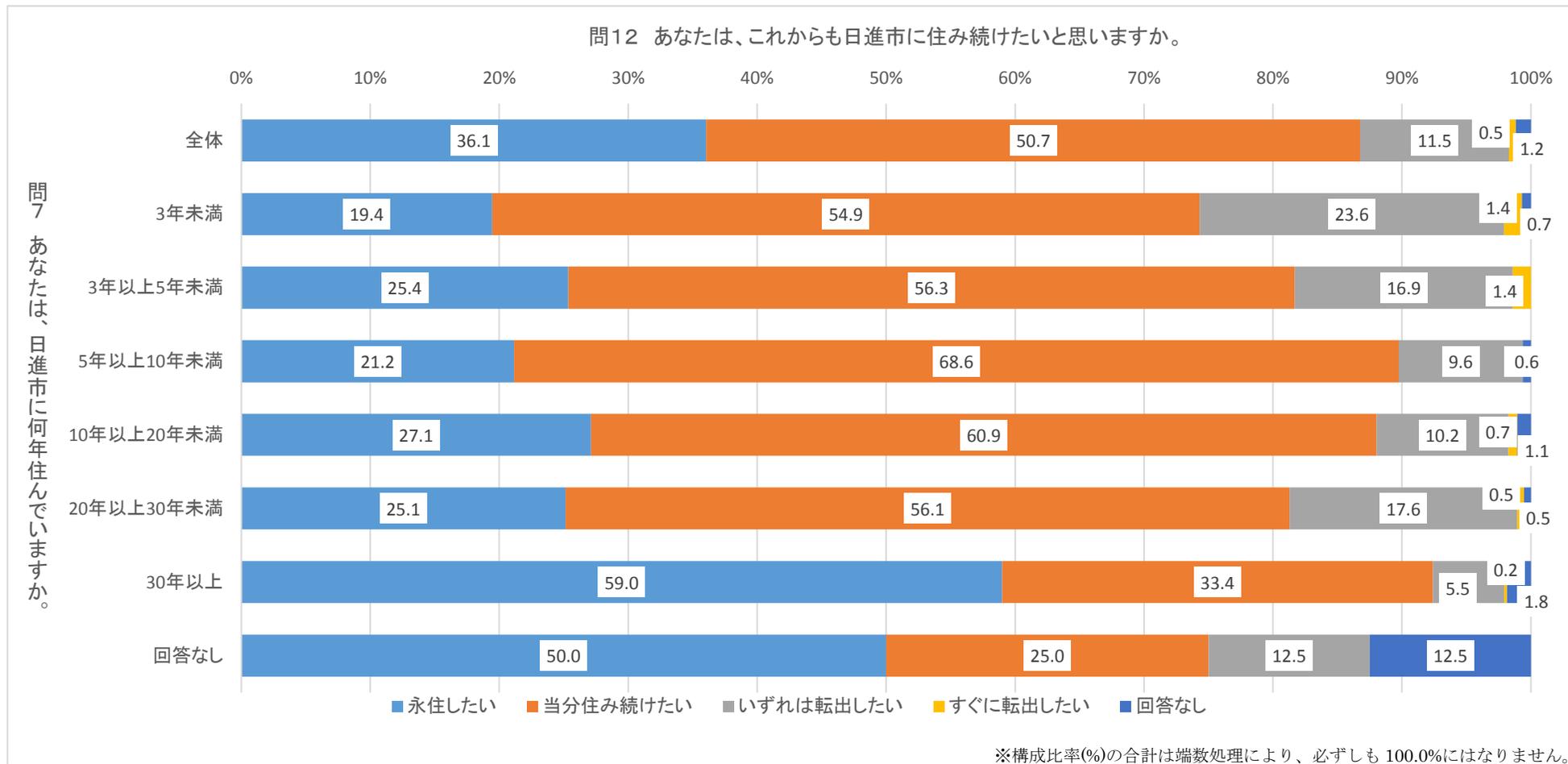
生まれたときから日進市に住んでいる人は、「地域の行事・イベント（お祭りなど）に参加したことがある」人が75%を超えており、日進市に引っ越してきた（戻ってきた）人よりも10ポイント大きい結果となった。今後は、特に日進市に引っ越してきた（戻ってきた）人に対して、地域の行事・イベント（お祭りなど）に参加していただくよう働きかけていくことが重要であると考えられる。

3 住宅種類と居住意向の関係について



住宅種類が世帯主名義ではない「一戸建借家」、「賃貸マンション・アパート」、「社宅・寮」の方は、20%を超える人が、「いずれは転出したい」と考えている。これらの人にも、日進市に「永住したい」、「当分住み続けたい」と思っただけけるよう、魅力的なまちづくりをする必要があると考えられる。

4 居住年数と居住意向の関係について



居住年数が「30年以上」の方は、60%近い人が「永住したい」と考えているが、「3年未満」、「3年以上5年未満」の住み始めて間もない人だけでなく、「20年以上30年未満」の人も20%程度の方は、「いずれは転出したい」と考えている。これらの理由を分析し、多くの市民に住み続けたいまちとっていただけるようなまちづくりを進めていく必要があると考えられる。